

(様式2)

教職員研究グループ活動状況報告書

代表者の所 属・職・氏名	川西市立桜が丘小学校 校長 綿巻 秀樹	研究グループ名 川西市人権総合学習研究会	19
-----------------	------------------------	-------------------------	----

研究テーマ分類番号 (10)

(1) 研究テーマ

「人権総合学習」を通して、人権意識を高め、一人ひとりが偏見や不合理を見抜き、お互いに認め合い、生きてはたらく力を身につける実践の在り方を追求する。

(2) 研究経過及び具体的な取組

- 6月18日 ○本年度の研究概要と研究計画作成、授業研究会
実施場所及び人数：川西市立桜が丘小学校 26名
講師：大阪教育大学教授
・研究テーマ設定と年間研究計画の検討
・3年生人権総合学習公開授業及び事後研究会
- 7月24日 ○市内人権教育・人権啓発の現状について（夏季研修会）
実施場所及び人数：川西市総合センター 25名
講師：総合センター職員1名、地域団体代表3名
・小学校での人権教育の取り組みの交流
・総合センターの歴史と活動について
・各種人権課題への取り組みと、同和問題等について
- 8月25日 ○多様性教育実践セミナー
実施場所及び人数：川西市立桜が丘小学校 22名
講師：大阪多様性教育ネットワークファシリテーター3名
・多様性教育学習ガイドブックをもとに、ワークショップの実施
- 11月21日 ○人権総合学習実践発表会及び多様性教育学習会
実施場所及び人数：川西市桜が丘小学校 120名
講師：大阪教育大学教授
・1年生、4年生、6年生人権総合学習公開授業
・多様性教育学習会「差別に立ちむかう子を育てる学習カリキュラム」

【成果と課題】

人権総合学習として、同和問題等の取組を学年ごとにカリキュラム化を進めてきた。

児童の自尊感情の育成とともに、「仲間づくり」「集団づくり」が人権教育の中でも大きな課題として取り上げられ、学力格差の課題も人権教育の取り組みの一つとして重要となっている。

人権総合学習としての「授業研究」は人権教育の一部分を切り取っての研究であるが、そこから、学級や学年、学校としての児童集団の人権意識や行動力が読み取れるように研究が深化している。今後も、児童の実態に沿った実践研究の方向を堅持していきたい。